

もっともっと



お出かけ! 2025

電動車いすのこと

2025年度最新情報



学生の目線で見ると 車いすライフの一コマ

授業
「地域支援フィールドワーク」で学生が
作成しました!

車椅子は“特別”じゃない。

見慣れないだけ。知れば、きっと近づける。



- 色々な電動車いすの特性を学ぶ!
- 電動車いす操作方法を指導してわかったこと。
- 車いすユーザーのつぶやき。
- 授業の様子。
- 学生の感想 授業「地域支援フィールドワーク」を終えて





もっともっとお出かけ！2025



-  ・車いすユーザーから学ぶ…………… P.2
-  ・車いすに関わる方から学ぶ…………… P.9
-  ・電動車いすの特徴と比較…………… P.14
-  ・海外の学生さんと一緒に学ぶ…………… P.21
-  ・海遊館日帰り計画と実際…………… P.27
-  ・車いすユーザーのつぶやき…………… P.35
-  ・授業の様子…………… P.37
-  ・学生の感想
授業「地域支援フィールドワーク」を終えて…………… P.38



もっとお出かけ2025

車いすライフのーコマ

車いすユーザーから学ぶ

車いすユーザーの声に耳を傾けて



車イス ユーザーの声

鑑理美

★車イスの使い分け

車イスユーザーの多くが**複数の車イスを所有、利用**しており、屋外用、屋内用で車イスを使い分けている。

屋外では…

坂道や段差などに対する機能性や安全性を考えた電動車イスやアシスト付き車イス、電動カートなどが使われている。

しかし、電動などのバッテリーが雨などで壊れたり、車などが車イスに対応していなかったりするため、手動車イスを使用する場合もある。



屋内では…

一般的に知られている車イスが多い..

トイレ、ベッドなどへの移乗などでの利用者、介助者互いの負担を減らすために、手すり部分や電動操作部分を取り外すことができたり、位置を調整することができたりするものを使用していることもある。



褥瘡(床ずれ)防止や姿勢保持のためにクッションを利用している車イスユーザーの方もいる。



ユーザーの声

廣井希伽

ユーザーの声としてお二人に質問をしました。
Q&Aは次のページで



プロフィール

喜多田 誠子さん

電動車椅子を使っている
車椅子ユーザー



YAMAHA
JWアクティブ
PLUS+

足立 誠さん

外で手動車椅子を使っている
車椅子ユーザー



ユーザーの声 Q&A



電動車椅子



カラー：ナチュラルベージュ

電動カート

質問

・電動車椅子と電動カートどちらの方が使いやすいですか？

返答

電動車椅子の方がいい

理由

- ・普通の車椅子に乗りなれているから
- ・電動カートにはベルトが付いておらず、座位を保持できない人は乗れないだから自分たち(車椅子ユーザー)は進んで乗らない

電動カートも安定感があってよかった

①車いすユーザーのこだわり

五十嵐 琉斗

皆さんは車いすについて、どのような印象を持っているか。動きにくそう？操作が難しいそう？種類があるのか？など... 車いすについて詳しく知らない方も多いと思う。

そこで、車いすについて、車いすユーザーのAさんにお話を伺ってみた。

その際、特に印象に残ったのは車いすの違いだった。

図1と図2の車いすを見比べてみよう。

図1の車いすは一般的な車いすで、図2がお話を伺ったAさんの車いすだ。まず、目に入るのは**駆動輪のスポーク※**。

図1の後輪は多数のものを支えているのに対し、図2の後輪はスポークではなく3本のカーボン素材のもので支えられている。



図1

※駆動輪：後輪(大きいタイヤ)

スポーク：図1の駆動輪の内側で支えている針金上の部品のこと



図2

キャスト※も比べてみると図2の方が圧倒的に小さい。

細かい違いだが、よくよく見ると、駆動輪の設置場所も図2の方が前に出ている。

なぜ、同じ車いすでも、このような違いがあるのだろうか。

※キャスト：前輪(小さいタイヤ)

その答えは、**機動性**にある。

図1のスポークは劣化し、ボールなどが当たった際など、身に危険が及ぶ可能性がある。

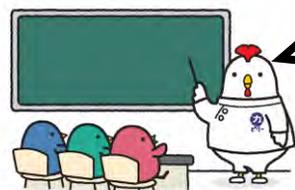
対して、図2のカーボン素材の方が、劣化にも耐久性にも非常に優れている。

また、キャスターに関しては、大きければ小回りの際にずれが生じてしまうが、安定感が出るのに対し、小さければ小回りがしやすい代わりに不安定になりやすいというメリットとデメリットがある。

以上のように車いすは、私たちが思い浮かべるようなものよりも、駆動輪・キャスタの大きさや、素材、機能の追加など、かなりの選択肢がある。

車いすのカスタマイズには、**当事者のニーズ**が大きくかわる。そのため、利用する人の希望に寄り添った**カスタマイズ**ができ、自分合う車いすを使用することができるというわけだ。

ひとまずここでは、車いすにも様々な機能や種類があることを知ってもらえると幸いだ。



ちなみに、通常的車いすタイヤは自転車とほとんど**同じ！！**

空気圧も同じだけど、車いすはタイヤの影響すごく受けやすいから、**空気**が入っているか、ないかで乗れる人が乗れなくなることがあるぐらい大切なんだ！

車いすに 関わる方から 学ぶ



もっとお出かけ2025

車いすライフのーコマ

車いすは、使う人だけでなく、それを「つくる人」や「届ける人」がいて初めて成り立っています。

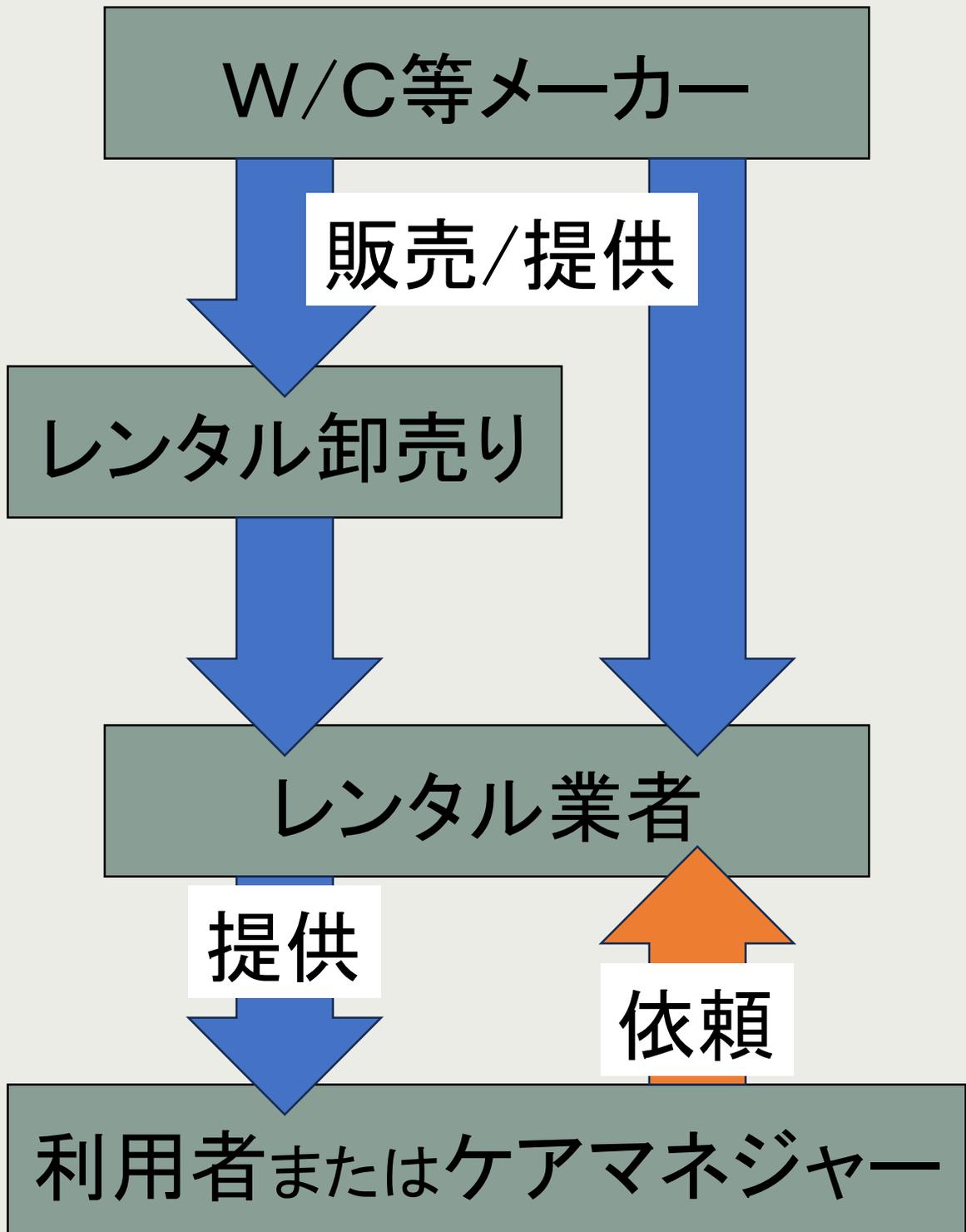
福祉用具の会社や、制作、販売に関わる方たちは、どんな想いで日々の仕事に向き合っているのでしょうか？

普段は、なかなか知ることのない“裏側”の声に耳を傾けてみると、車いすの奥深さと、人と人とのつながりが見えてきました。



車椅子供給の仕組み

鑑理美



車椅子メーカーのいろいろ

鑑理美

Q. YAMAHAやスズキ、三菱などの車イス以外をメインとしている会社があるのはなぜですか？



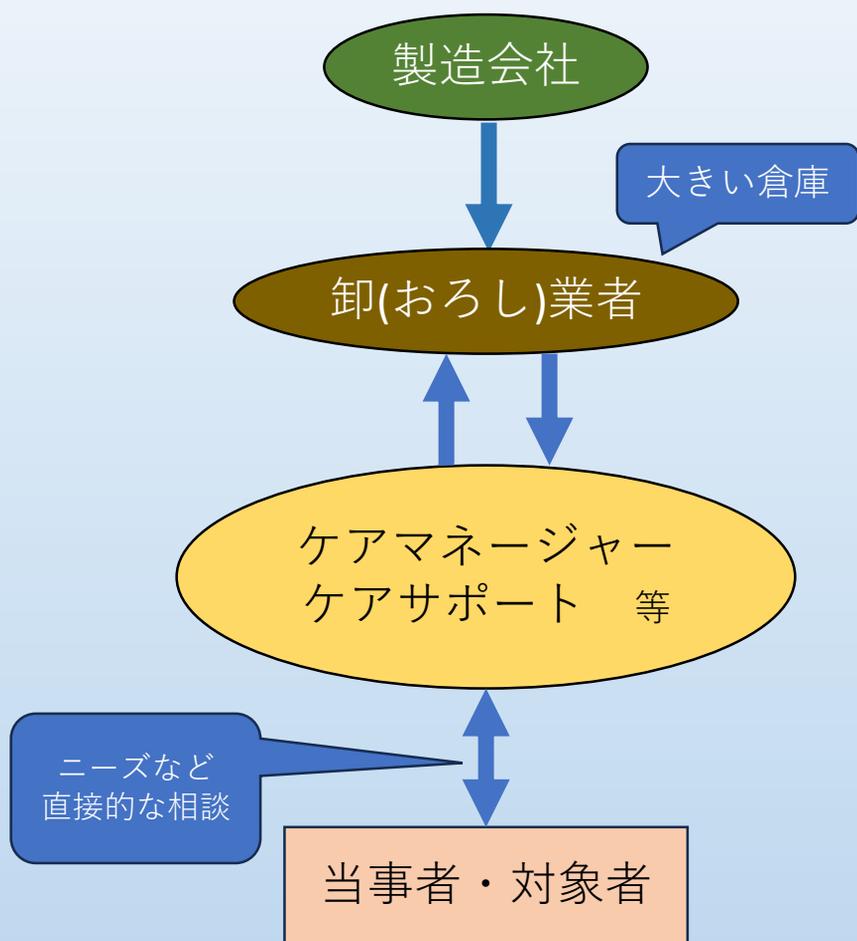
A. それらのメーカー、会社は、モーターなどの開発、製造に長けているため、電動車イス等も、製造しています。

③車いすが届くまで 五十嵐 琉斗

今まで車いすについて触れてきたが、車いす自体を注文して届くまでに、どれ程の人が関わり、こういった工程を経ているのか。これについて最後は触れていく。

右図は、おおよその流れである。

始まりは下から。当事者・対象者側と、ケアマネージャーやケアサポートの方々と話し合い、どんなものがあるのか、金銭面や一人一人のニーズなどを聞く場面だ。それから、ケアマネージャー・ケアサポート側から、話し合いででた商品があるかどうかの確認、形的には大きな倉庫番的なものにあたる。そのため、卸業者にはとんでもない量の商品を取り扱っている。



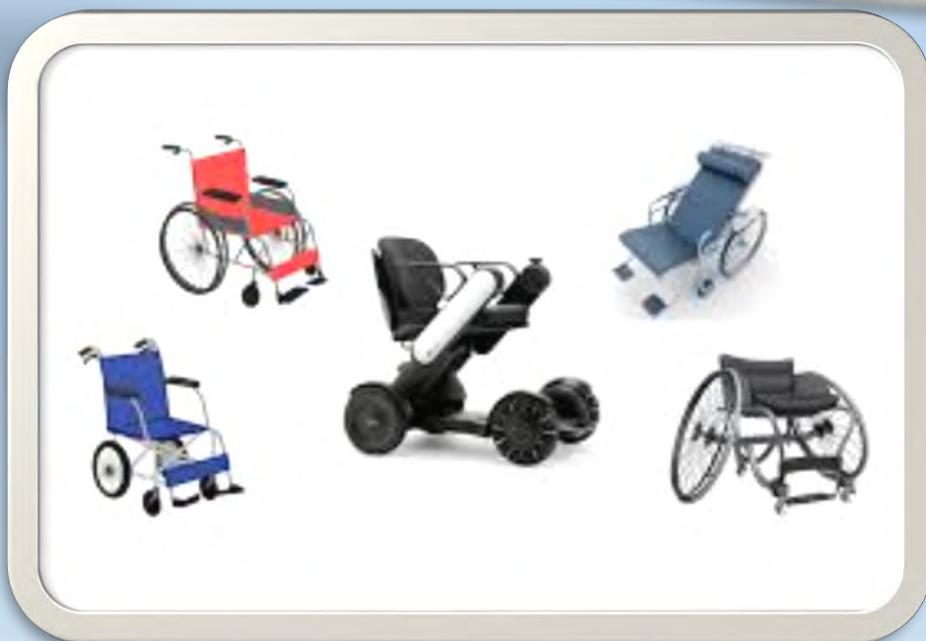
非常に簡潔に説明したが、さらに詳細を見るとこれだけではなく、他地方・他会社との関わりがある。それが日本全国に展開しているとなると、たくさんの会社、大勢の人物がこういった場面に関わっている。改めて、人と人の支えあいで日本社会が構築されていると感じた。素晴らしいものである。

ちなみに、車いすの部品やモーター部分、商品は車いす等の製作会社だけが作っているのではなく、大手自動車メーカーなども携わっており、車いすのこれからの期待が高まるばかりだ。

●まとめ

いかがだったでしょうか。車いすにもたくさんの部品や種類があり、それら一つ一つが対象者のニーズや用途、これから一生を共にするかもしれないものに対するこだわりは、非常に大切な要素と言えるだろう。また、これからさらに進化していく要素はいったいどんなものなのか、やはり、期待が高まるばかりである。関係者の皆様への感謝も忘れず、その感謝が伝えられる時を待ちわびるばかりである。

車いすについて少しでも興味を持ってくれたのなら幸いだ。車いすだけでなく、他にもたくさんの福祉用具やまだまだ語れていないことも沢山あるので、ぜひ自分の目で、手で、調べ、触れてみてほしい。



もっとお出かけ2025

車いすライフのーコマ

電動車いすの特徴と比較



「電動車いすって便利そうだけど、どんな時に使うの？」

「見たことあるけど、違いがよくわからない…」

そんな疑問に答えるために、今回はそれぞれの特徴や違いを、
実際の声や体験をもとにご紹介します。

車イスの比較 鑑理美



★milite (ミライト・ウイング)



坂道でグリップのセンサーが反応し、操作をアシスト！

タイヤサイズ

前輪 6インチ

後輪 14インチ

重さ

17～18 kg

特徴

介助者に対する電動アシスト付き

どんな方に使われている？
介助者の力が弱い、
住宅付近、利用場所に坂道が多い など

実際に体験してみた感想
アシストがあると無いとでは、
介助者にかかる負担が大きく違った。



バッテリーは充電式
残量は可視的

★JW アクティブ PLUS+



軽量型電動車椅子
JW アクティブ PLUS+
介護保険対象品 補装具対象品 耐荷重:100kg

タイヤサイズ

前輪 7インチ

後輪 22インチ

重さ

31.6 kg

特徴

手動・電動・介助者の3つの操作方法があり、介助者に対するアシスト有

主な利用者

若者が多い

実際に体験してみた感想

電動操作の場合、小回りが利くこと、操作の加減を知ること、細かな速度調整をすることもできた。電動(自走)の操作部分の位置を操作することで食事の際の机との距離を近づけることができる。

4段階の速度設定
(最大6km/h)

比較 廣井希伽 遊歩スマイルα

こちらの方がよく使われている電動カート

・寸法(全長×全幅×全高)
1,195mm×650mm×1,100mm

・速度
0.5~6 km/h

・連続走行距離
30 km

・実用登坂角度
10°

・使用者最大体重
(積載物を含む)
100 kg

電動四輪



特徴

・充電方法
コンセント



・操作方法
バイクのような
操作

安心装備

高性能表示パネル 傾斜センサー
ノーパンクタイヤ コーナー減速機能
盗難抑止機能 誤発進防止機能

レンタル

メーカー
セリオ

希望小売価格

¥418,000(非課
税)

介護保険

レンタル価格

1割負担の方
¥2,500/月

比較 スマートパルN

・寸法
幅66.5×長さ119cm×高さ105cm

・速度
6km/h (早歩きの数値くらい)

・連続走行距離
約24km

・実用登坂角度
10°

・耐荷重
100 kg

電動三輪



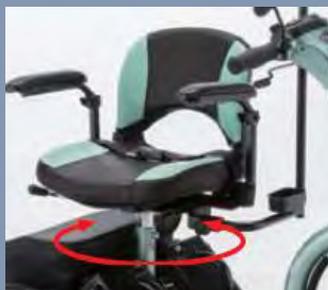
特徴

・充電方法
室内充電が可能
着脱式バッテリー



・操作方法
自転車のような
操作

椅子が自由に
動いてシート
が回転し乗り
降りラクラク



レンタル
メーカー
フランスベッド

希望小売価格
¥384,200(非課
税)

1ヶ月分の
レンタル料
¥13,800(非課
税)

介護保険
レンタル価格
1割負担の方
¥1,280/月

②車いすの進化 五十嵐 琉斗

車いすの種類がわかってくると、私は一つの興味が湧いた。

「今の車いすはどんな開発と進化がなされているのか」

というわけで、一般的に想像されるであろうThe・車いすと、販売されているものと、私が最も近未来に感じた車いすの2つを比較をしていく。



図2-1



図2-2

図2-1が一般的に使用・普及されている車いすで、図2-2電動車いすのWHILL model c2がである。(以下図1/図2と記す)。図2の車いすは表紙にも乗せたもので、ある。

まず、知識として、車いすには大きく分けて、3種類あり、自分でタイヤを動かし移動する、**自走型**。介助を主とし、手持ちハンドルがある、**介助型**。そして、レバーを動かすだけで動く、**自動型**がある。

図1の車いすは、自走・介助型どちらもを兼ね備えた車いすなのに対し、図2の車いすは、ハンドリム※どころか、手持ちハンドルすらない。完全自動型の車いすである。

※ハンドリム：駆動輪についている手動でタイヤを回すための持ち手

さらに図1の車いすは軽く畳めるのに対し、図2は**分解**ができ、持ち運びにも非常に便利である。

さらに特徴的なのが、キャストである。図1のキャストは360°回転するが、図2のキャストは固定されており、その代わりに、タイヤ部分が複数のタイヤにより構成されている。これにより、非常に小回りがよく、素早く簡単に方向転換することができる。



図1のキャスト



図2のキャスト

図2の車いすには自転車というギアのようなものがあり、1~4段階で進む速さを変更することができる。最大の4では、およそ6km/hで、法律で定められている歩道で走れる速度までに設定されている。



図2の車いすの操作レバー

しかし、図2のデメリットも少なからずある。例えば、バッテリーがないと動かせない、図1に比べ、物自体にかなりの重さがあるなど、状況や、利用者に合わせたものを選ぶのが大切だ。



もっとお出かけ2025 海外の皆さんと 一緒に学ぶ

伝えることで
自分も学んでいた



車いすについて知ってもらう授業に、今回は海外からの留学生も参加。学生たちは、使い方や工夫、気を付けるポイントを、言葉を選びながら丁寧に伝えて行きました。

説明するって、思っていたよりも難しい。でも、その分、「**どうすれば伝わるか？**」「**どんな配慮が必要か？**」自分たちも深く考えるきっかけに。言葉の壁を越えて、車いすを通して心が近づいた授業の様子をお届けします。





MOBILITY AIDS

Pondy

→ STANDARD WHEELCHAIR

Common use in Japan.



→ ELECTRONIC WHEELCHAIR



WHILL

Simple electronic wheelchair and easy to transport for everyone.

→ MILITE WHEELCHAIR

It have a safety hand grip for uphill and downhill. Moreover, it can assist the caregiver, too.



AUTOMATIC

This wheelchair can use in manual mode or electronic mode. The electronic mode can use by the patient or the caregiver.



4 WHEEL

It can use outside and more function.

→ PROS & CONS

All of the mobility aids can give the patient to transport to many places and it is easy to use in Japan, but it still have the limitations in some places such as the stairs. So it should select to use the wheelchair in proper situation.

→ WHEELCHAIR SAFETY MANAGEMENT

It have a safety guideline for the people who using wheelchair that they have to learn and follow the guidelines to prevent the accident or damage that can happen. Furthermore, it is good to try and learn how to use the wheelchair once or twice before going outside, especially the electrical one.



Mobility aids

Umi chan

Standard Wheelchair: Easy to use, manually operated without assistance. It is the most affordable option.



Advanced Electric Wheelchair: Can rotate 360 degrees, intuitive and user-friendly. It can move forward, backward, and diagonally. However, I think it is more suitable for users with good hand function.



Electric Wheelchair: Equipped with large wheels, easy to maneuver, and stable when placed on flat surfaces. This type is also available at Kansai Airport.

Electric Bike: Available in Thailand as well. It is very easy to use and significantly reduces physical effort for the user.

Reflection of the Day:

Nowadays, there are many assistive devices available—not only for people with disabilities but also for anyone who needs support. These devices can help individuals participate more fully in social activities. It's a remarkable advancement that promotes inclusivity and independence.

Interaction with International Students

Nonoka Hiroi

Lecture on mobility aids for international students

taught PONDY and UMI, international students from Thailand, how to operate an electric cart I don't know if I was able to teach you well because I don't speak English very well, but I am glad that you two were able to understand me quickly.



Taking a walk outside in a wheelchair

This time it was raining and I couldn't walk around much, but I was able to walk outside for a bit. It was fun.



Exchange meeting with Thai students

Tatara Satomi

This time we had an exchange meeting with two international students from Thailand. I used English to tell them what I had learned about wheelchairs in the first class.



Since it was raining on that day, we could not fully practice outside, but I also gave the girls a hands-on experience of wheelchair operation in the university.

This time I felt the difficulty of teaching others what I had learned before and my limited English vocabulary. I am glad that I could have such a valuable experience.



Introduction and experience of mobility aids with international students

Ryuto Igarashi



This time, we introduced the wheelchair to the international students and gave them a hands-on experience.

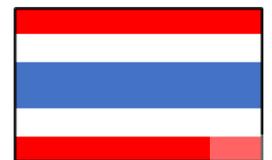
The participants actually experienced the different types of electric wheelchairs, their operability, and the convenience of each.

We wanted to actually go outside to experience it, but unfortunately it was raining and we couldn't go very far, so we had them explore on campus!

Due to the language barrier, we had to communicate through conversation, but we were able to communicate through trial and error, and it was a very meaningful time.



Thank you very much!!!





海遊館

日帰り計画と 実際

一緒に出かけて、
はじめて見えた景色



「ちょっと遠出してみようか」そんな一言から始まった、海遊館への日帰り計画。

電動車いすのユーザーさんと学生が、一緒に街へ出かけたこの1日は、いつもと違う視点で社会を見つめる時間となりました。

スロープの角度、エレベーターの場所、人の視線。普段は気づかないようなことに、たくさん出会いました。



これは“出かけたからこそ気づけたこと”をまとめた、リアルな記録です。

海遊館 おでかけ計画

XX : XX 最寄り駅 発



09:02 弁天町駅 着 集合



～乗り換え～

09:16 弁天町駅 発



OsakaMetro中央線 夢洲 行

09:20 大阪港駅 着



～移動～

09:25 チケット発行
(セブンイレブン 天保山店)



～移動～

09:40 海遊館 着

車イス体験 in 海遊館

今回は、車イスユーザーの足立さん、喜多田さんと共に海遊館に行かせていただいた。

★海遊館までの道のり

海遊館までは、電車（乗り継ぎ1回）で向かった。
大阪万博の影響で、駅には人が多く、改札口や電車内などが混み合っており、乗り継ぎに時間がかかった。



おでかけ計画との差

- ・弁天町駅 出発
9:16 → 9:26
- ・大阪港 到着
9:20 → 9:30
- ・海遊館到着
9:40 → 9:50

駅には**通り抜け型エレベーター**が設置されている場所やホームと電車の上に隙間のない**ノンステップ仕様**などの車イスユーザーやベビーカーの方への工夫がされていた。



★海遊館内での様子

海遊館では、魚たちを楽しむとともに、海遊館内での車イス体験もさせていただいた。

海遊館では、通常、階段やエスカレーターを使用しながら、館内を楽しむ構造になっているが、車いすユーザーにとっては難しいものばかり。しかし、スタッフ専用のエレベーターなどを利用し、楽しむことができるようになっていた。



それぞれの水槽の付近には“**思いやりゾーン**”と呼ばれる車いすユーザーが魚たちを楽しむ事のできるスペースがあった。だが、魚たちに夢中な他のお客さん(子どもたち)には気づかれないことも多い印象をもった。

海遊館内の床は、転倒時のけが防止のためか、フローリングではなく、絨毯生地になっていた。足立さんや喜多田さんのお話では、手動の車イスでは運転しづらいとおっしゃっていた。



海遊館

廣井希伽

第三回 地域支援フィールドワークで海遊館に行きました。前回、車椅子の人が海遊館に行くのにはどれだけ時間がかかるかを考えておでかけ計画を作りました。実際どれだけ時間がかかったのかを記します。

実際

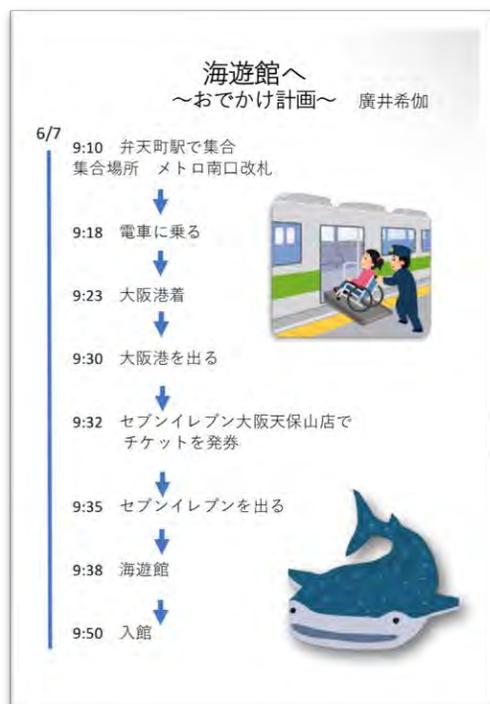
9:02 弁天町着
9:20 メトロ中央線に入った
9:26 電車に乗る
9:30 大阪港着
9:45 歩く
9:55 海遊館着
10:00 入館

ほとんど計画どおりにいかなかったですがある程度はうまくいったと思います。

なんでうまく計画通りにいかなかったのか

- ・万博の期間なので人が多かったのと、休日でお子様連れが多かった
- ・エレベーターが混んでいた
- ・何回か駅(大阪港)で車椅子が通れる改札を探すのに手間取った
- ・切符を買うのに手間取った

時間がかかると思っていた乗車や下車はスムーズだった



おでかけ計画



海遊館 車椅子体験

海遊館の様子

・海遊館では車椅子ユーザーのための**思いやりゾーン**というスペースがありました

・関係者しか入れない場所にエレベーターがあったので海遊館の内側を見れた

車椅子ユーザーの目線



思いやりゾーン



手動で押している所



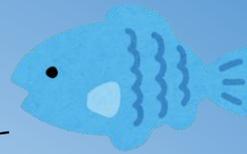
内はスロープになっているのですが人が多くてゆっくり降りなきゃいけなかったので下りの時は少ししんどかったです

感想

海遊館で車椅子を乗って思ったことは、海遊館は広いけど、子供が自由に動いて轢きそうになったので思うように動けなかった。でも小さな水槽なら目線がいいところになるので綺麗に見えた。

●車いす体験～in海遊館～

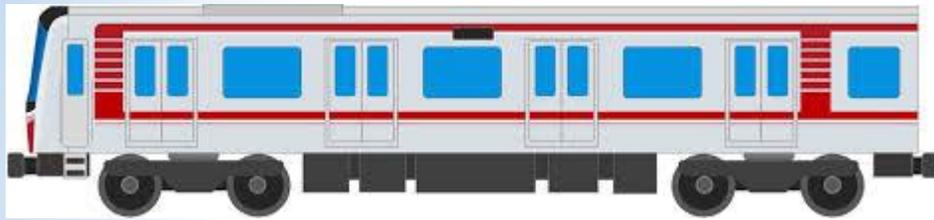
五十嵐 琉斗



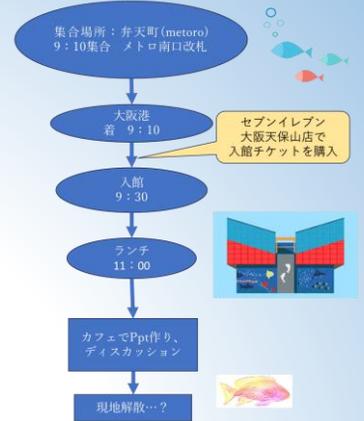
今回私たちは、車いす体験をしに、海遊館に行きました。
そこで学んだこと、気づいたことを記していきます。

①事前計画

最初の計画当初の時間では、09:02に弁天町着、乗り換えてOsaka Metro中央線、09:06発の電車に乗り、09:10に大阪港に到着、それから9:30に海遊館に入館～という流れでした。



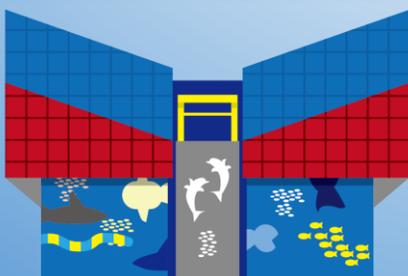
地域支援フィールド 第3回 当日スケジュール
場所：海遊館
目的：公共の車いす利用・体験、バリアフリー上での車いす行動について理解する



↑スケジュール
計画書

②実際にかかった時間

しかし当日では、09:02に弁天町についたものの、切符の購入や、大阪・関西万博の影響で、大勢の人だったりとで、大幅に時間がかかり…。乗った電車は、9:26発、9:30着の電車。計画より、**約20分**の遅れでした…。



③いざ、海遊館へ！！！！

そんなこんなで無事、海遊館に到着しました！
入場チケットをもらい、車いすで移動のため、階段で移動する場所の場合、エレベーターで入館します。それから館内を回ると、おもいやりゾーンという車いす優先場所や、スロープの角度など、実際に車いすで体験しないと気にならないような要素がたくさんありました。

④学んだこと・気づいたこと

最後に、自分が学んだこと・気づいたことを記していきます。

- ・大勢の人などの場所では、非常に動きづらい
大勢の中では非常に動きづらく、改札や館内は、動けず、時間に間に合うように行動が難しい場合がある。

- ・おもいやりゾーン。
海遊館では、おもいやりゾーンという車いす優先場所のようなスペースが各所に用意されている。しかし、他のお客様には気づかれていなかったり、強調が少なかったりと、車いすで見ることが少し難しい場合も正直少なくなかった。

まだまだ書きたいことはありますが、今回はこのぐらいで。

以上！



車いす

車いすユーザーの
日常から見えること

ユーザーの つぶやき

その一言に、気づきが詰まっていた。

何気ない言葉に、たくさんのヒントが隠れている。
この特集では、電動車いすを使って日々を過ごしている
ユーザーの方々から、
授業を通して聞こえてきた“つぶやき”を集めました。

「ちょっと困ったな」「これ、いつも気になってる」
健常者では気づきにくい視点に触れることで、私たちの
日常も少し違って見えてくるかもしれません。

今年度は数年ぶりの電車移動を伴う地域フィールドワーク。実際に車いすです外に出てみて、初めて気付くこと、体感出来ることはたくさんあります。またタイから来られた留学生お二人が授業に参加して下さり、少しではあったが車いすのことについて情報交換ができました。

今回は「レジャー施設×大阪万博」という、非常にレアなタイミングでの外出になりました。外国人観光客が多いことによる影響。海遊館では「思いやりスペース」というゾーンがありました。車いすユーザー3人で行動していたので多少目立っていたと思いますが、館内の照明は暗く外国人観光客が多いと、車いすユーザーに気付いたスタッフさんが「順番にスペースを空けてください」と何度もアナウンスするが日本語なので通じません。

そもそも人口密度が高く、同行者が割って入って流れを作らないと移動もままならない状況。水槽前に行くと人に囲まれてしばらくは動けない・を繰り返しながら鑑賞しました。

あまりの人だかりに他の車いすユーザーからは「全然見えないけど、もういいや」と早々に諦めてしまう声も聞こえました。楽しめない、と言われたように感じ、同じ車いすユーザーとして非常に悔しく思いました。

館内の照明があるところに外国語の案内表示を出したり、来館者に知ってもらうための工夫が欲しいところです。

全体的には本当に大勢の人で賑わっていました。外国人観光客が増える中で、誰にとってもわかりやすい表示案内（ピクトグラム）の重要性を感じました。

表示の大きさや設置場所が大切ですが、外国人観光客だけでなく、子どもや高齢者、初めて来た人たちに何がどこにあるのかを伝えることができるものです。

人目に止まる場所は看板広告があることが多いですが、わかりやすい案内表示が増えていくことで『誰もが楽しく出かけられる社会へ』変わっていくと信じています。



Community support fieldwork 授業のようす

vol.01



車いすで海遊館は 楽しめるのか？

車いすユーザーの方々と週末の海遊館へ。学生達も順番に車いすに乗って、外へ出かける体験をしていました。自分たちが見る目線の世界と、車いすから見る目線の世界。それぞれを経験したことで、新しい発見があったようです。

今回の授業を通じて、自分たちが当たり前ではなく、思いやりをもって外の世界に出てもらえると私は嬉しい。

車いすを知る

初めて触れる福祉用具の世界。学生たちは、福祉用具を扱う業者の方々の説明に真剣な眼差しで耳を傾け、特に電動車いすに強く関心を寄せていた姿が印象的。外での体験も良い経験だった。



講師紹介

岸下 周夢(きした ひろむ)

理学療法士。地域リハビリテーションや生活支援に長年携わる一方、ピラティスインストラクターとしても活動中。医療と福祉の現場をつなぐ“暮らし目線”の視点を大切にしながら、学生たちには「知ること・感じること・伝えること」の大切さを伝えている。

留学生と福祉用具を学ぶ

学んだ福祉用具を留学生に英語で伝える場面では、文化や福祉制度の違いを越えて心が通い合う瞬間があった。学生たちの一生懸命な英語プレゼンに、思わず胸が温かくなった。



もっとお出かけ2025
車いすライフの一コマ

学びは
まちの中にあつた

学生の感想

「地域支援フィールドワーク」を終えて

教室を飛び出して、実際に“人”とふえれあい、“まち”に出たこの授業。車いすの使う方々との関わりや、福祉用具の現場のリアルな声にふれる中で、学生たちは机の上で学べない、たくさんのことを感じとりました。

「知る」ことが「気づき」につながり、「関わる」ことで「自分ごと」になっていく。そんな変化を心に抱きながら、それぞれの言葉で振り返った学生の声を、ここにまとめました。



学生の感想

授業「地域支援フィールドワーク」を終えて



これまでの授業で電動車椅子や電動カート、歩行器など普段触れることのないものを体験出来てとても楽しかったです。普通の車椅子なら何回か乗ったことや別の授業で使ったことがあります。電動車椅子は初めてで面白い体験をさせてもらえてこの授業をとってよかったなと思いました。

三回目の授業では車椅子ユーザーが健常者と比べてどれだけの時間をかけて移動しているのか一緒に行動して学びました

実際に外で車椅子に乗ってみての感想としては、周りの人が生き物に夢中で車椅子の周りに立たれてしまうと身動きが出来なくなってしまうし、誰かに退いてもらわないと自由に動くことすらできないと身をもって体験しました。こんな体験めったにできないと思うので、体験できてよかったです。



本当に貴重な経験がたくさんできました！今回の授業で特に感じたことは、実際に自分で体験してみないとわからない、感じ取れない部分が非常に多かったということです。あたりまえと言えばあたりまえのことですが、それでも基準が自分になると、気づくまでに時間がかかってしまったり、そもそも気にならないことも非常にあります。そういった部分が改めて痛感でき、自分たちが普段感じている快不快感が、車いすを利用している人たちからでは、どう感じるのか、目線やほかの人の存在がどういった場面で、どう影響するのかなど、考えるべき部分の視野がさらに広がったと感じました。本当に貴重な経験をありがとうございました！



今回、3日間の授業内で何度も車イスに触れることができました。車イスメーカーの方やレンタル業者の方々から、様々な車イスの特徴、違いなどを教えていただいただけでなく、車イスユーザーの方々から、屋内、屋外、床の素材（フローリング、絨毯）の違い、傾斜の上り下りなどでの車イスユーザーが感じる、難しさや不安をお聞きすることもできました。

実際に自分が乗ってみて感じたこともたくさんあり、現状の道路や施設内の問題点、改善点を知ることができました。

この授業を受講しなければ得られなかった知識もたくさんありました。しかし、これらは、ほんの一部にしか過ぎません。今回は車イスユーザーについてでしたが、視覚障害者や聴覚障害者などの方が生活するうえでどのような支援を必要としているのか、想像するだけでなく身をもって学んでいくことが必要だと感じました。

2025年度「地域支援学フィールドワーク」

受講生（3名）

所属	学籍番号	氏名	学年
理学療法学専攻	2301054	廣井 希伽	2
作業療法学専攻	2402004	五十嵐 琉斗	2
言語聴覚学専攻	2403008	鑪 理美	2



2025年度 指導・協力

大阪河崎リハビリテーション大学 久利 彩子・中越 雄也

NPO法人 自立生活センター・いこらー 足立 誠・喜多田 誠子

デザイン指導 岸下周夢

電動車いす・クッション・歩行車説明指導

かじせケアサポート 中尾佳洋・山口忍・楠山浩平

株式会社セリオ 片本 将人

ジョイサポート 中江 佳孝

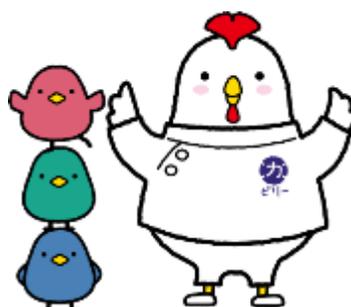


お問い合わせ先

大阪河崎リハビリテーション大学
地域支援フィールドワーク
主任講師 久利 彩子
hisaria@kawasakigakuen.ac.jp

NPO法人自立生活センター・いこらー
足立 誠
terioskidsilva@yahoo.co.jp

もっともっとお出かけ! 2025



発刊
2025年6月16日
大阪河崎リハビリテーション大学